

週間漁海況情報—第44号

平成24年11月05日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

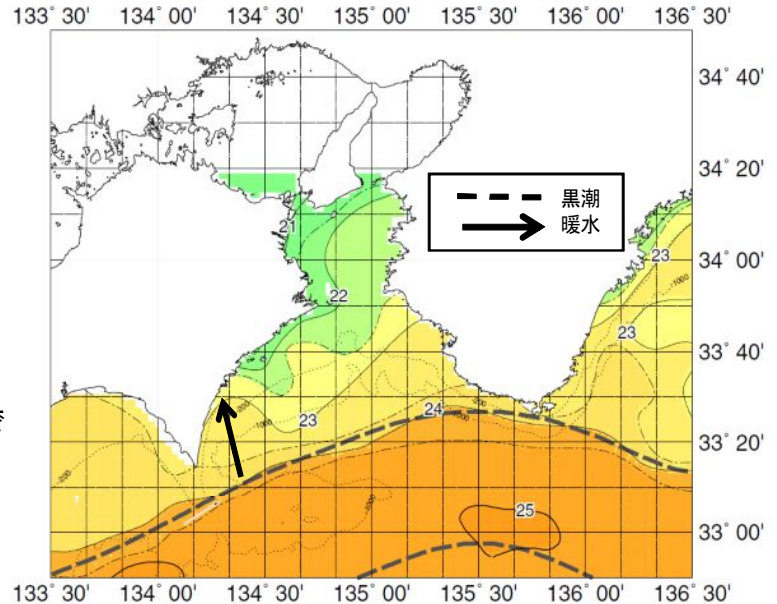
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.11.05）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、24℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で20～21℃台、紀伊水道で20～22℃台、海部沿岸で21～23℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬から海部沿岸に向け緩やかな暖水流入がある。

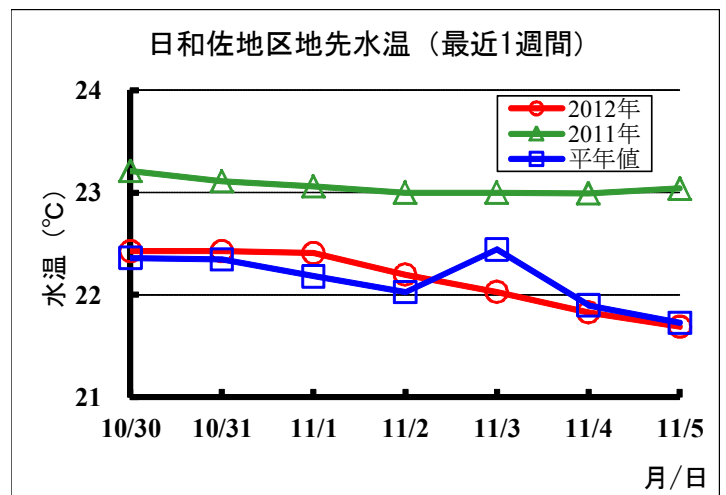
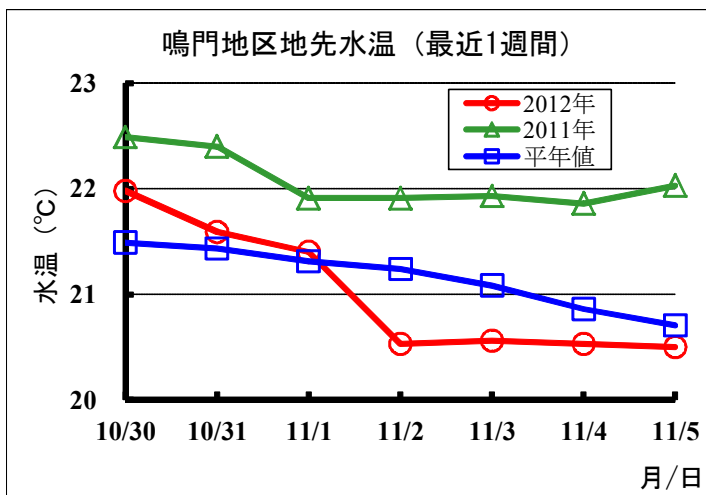


漁業調査船「とくしま」で11月2日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～30m層で「やや高め」の21.7～21.8℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
11/2	今年値	21.8	21.8	21.7	21.8	31.6	31.6	31.6	31.7
	平年偏差	0.7	0.8	0.7	0.8	-0.4	-0.4	-0.4	-0.5
	前年偏差	-0.8	-0.7	-0.7	-0.8	0.7	0.6	0.5	0.5

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「やや高め」の20.5～22.0℃、日和佐地区は「平年並み」の21.7～22.4℃、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の20.1～23.1℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.9トン（1日1隻あたり29kg）、大主体にサバフグが0.2トン（同25kg）、カワハギが0.2トン（同34kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが0.2トン（同10kg）、マルアジが0.3トン（同15kg）、アオリイカが0.4トン（同5kg）、イシガキダイが0.3トン（同28kg）、カマス類が0.2トン（同9kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にタチウオが2.2トン（同33kg）、中主体にアオリイカが0.6トン（同8kg）、紀伊水道で、サワラが0.4トン（同40kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが26.3トン（同292kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 10月29日～11月04日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	31	894	29	大主体
		サバフグ	9	227	25	大主体
		カワハギ	6	201	34	
小型定置網		マアジ	21	208	10	小主体
		マルアジ	20	301	15	小主体
		アオリイカ	77	370	5	
		イシガキダイ	9	250	28	
		カマス類	24	205	9	
釣り		海部沿岸	タチウオ	67	2,224	33
	アオリイカ		77	629	8	中主体
	紀伊水道	サワラ	9	363	40	中主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	90	26,250	292	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月31日～11月6日には、海部沿岸では、延縄で、カワハギが0.3トン、大主体にサバフグが1.0トン、小型定置網で、カマス類が0.2トン、小主体にタチウオが0.8トン、大主体にヒラソウダが0.3トン、小主体にマアジが0.3トン、マルソウダが1.2トン、釣りで、アオリイカが0.2トン、中主体にマルアジが0.3トン、海部沖合では、釣りで、中主体にカツオが1.1トン、小主体にキハダが0.8トン、大・小主体にシイラが0.3トン、大主体にヨコワが0.5トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが41.1トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において、「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の19～20℃台、日和佐地先で「平年並み」の21℃台で推移する見込み。